

◆2010年4月からの国内競技会における水着の取扱いについて◆

2010年4月より

『日本水泳連盟ならびに加盟団体が主催する競技会（公式競技会）と公認された競技会（公認競技会）において着用する水着は下記の通りとする。』

- (1) 水着の形状（身体を覆う範囲）は次の通り。
 - イ) 男子はへそを超えず、膝までとする。
 - ロ) 女子は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない
- (2) 重ね着は、禁止。着用できる水着は一枚のみとする。
- (3) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- (4) 素材は繊維のみとする。（ラバー及びパネルを貼ったものは不可）

※国際水泳連盟（FINA）の承認を受けていないものでも構わない。（ただし形状・素材は守ること）

※但し、世界新記録、日本新記録（高校～学童新記録を含む）の公認は、すべて国際水泳連盟（FINA）に承認された水着であることを条件とする。

（理由）

国際水泳連盟（FINA）に承認された水着が、すべての競技者に直ちに供給されることは、難しいと考え、暫定的に国内規則を設ける。2009年以前に販売された水着でも使用可能とする。本規則の適用期間は平成22年4月1日より平成23年（2011年）3月末までとする。

（参考資料）

国際水泳連盟（FINA）の水着に関する決定事項は下記の通り（2009年7月24日）

- (1) 水着の形状（身体を覆う範囲）は次の通り
 - イ) 男子はへそを超えず、膝までとする。
 - ロ) 女子は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
- (2) 重ね着は、禁止。着用できる水着は一枚のみとする。
- (3) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- (4) 素材は繊維のみとする。
 - イ) 素材の厚さを最大0.8ミリとする。
 - ロ) 浮力の効果を0.5ニュートン（N）以下とする。
 - ハ) 透過性最小値は80%/m²/秒とする。尚、計測は素材を上下左右に25%伸ばした状態で行われる。
- ニ) テストは必ず科学者チームにより、科学的方法で行われる。
- ホ) 認可テストの後の修正・改造は禁止する。

【本件に関する連絡先】

（財）日本水泳連盟 事務局 小川

Tel:03-3481-2306/Fax:03-3481-0942